

数値目標一覧

※評価区分 A:目標達成、B:改善、C:変わらない、D:悪化、E:評価困難(未公表)

指標	基準値 〔中間評価時点の値〕 (年)	直近実績値 (年)	評価 (個別項目)	評価	目標値	数値の出典
健康寿命の延伸を目指す健康づくり						
健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性 72.15歳 女性 75.43歳 ※平均寿命 男性80.54歳 女性86.74歳 (2010,2013,2016年の平均値)	男性 73.45歳(+1.30) 女性 76.58歳(+1.15) ※平均寿命 男性81.41歳(+0.87) 女性87.24歳(+0.50) (2019年)	A	A	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会(R3.12.20)資料3-1(国民生活基礎調査を基に算出)
がんで亡くなる県民の地域差の縮小(対県標準化死亡比最大の地域と最小の地域の比較倍率の縮小)	1.36倍 (2011~2015年)	1.29倍 (2016~2020年)	B	B	1.20倍	第3次静岡県がん対策推進計画(2023年まで)の目標値
がん検診の受診率の向上	胃がん 42.6% 肺がん 52.4% 大腸がん 43.5% 子宮頸がん 43.2% 乳がん 45.4% (2016年)	胃がん 43.2% 肺がん 54.4% 大腸がん 48.3% 子宮頸がん 45.9% 乳がん 44.0% (2022年)	B B B B D	B	肺がんは60%以上 胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは50%以上	第3次静岡県がん対策推進計画(2023年度まで)の目標値
脳卒中の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性 44.3 女性 23.2 (2015年度)	男性 37.1 女性 20.4 (2021年度)	A A	A	男性 37.8 女性 21.0	第8次静岡県保健医療計画(2023年度まで)の目標値
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健診受診率(40~74歳) 52.9% 特定保健指導実施率(40~74歳) 18.5% (2015年度)	特定健診受診率(40~74歳) 58.8% 特定保健指導実施率(40~74歳) 26.0% (2021年度)	B B	B	特定健診受診率70%以上 特定保健指導実施率45%以上	第3期静岡県医療費適正化計画(2023年度まで)の目標値
高血圧有病者・予備群の割合の増加の抑制	高血圧症有病者の割合 男性40~74歳 38.8% 女性40~74歳 30.9% 高血圧症予備群の割合 男性40~74歳 12.7% 女性40~74歳 10.9% (2014年度)	高血圧症有病者の割合 男性40~74歳 41.0% 女性40~74歳 30.3% 高血圧症予備群の割合 男性40~74歳 12.2% 女性40~74歳 10.5% (2020年度)	D B B B	C	有病者・予備群の割合の維持	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
収縮期血圧の平均値の低下	男性 126.3mmHg 女性 122.7mmHg (2011年度)	男性 126.6mmHg 女性 122.2mmHg (2020年度)	D B	C	2011年度の4mmHg減少	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
脂質異常症の有病者割合の減少	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 19.0% 女性 23.9% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 13.7% 女性 14.7% (2014年度)	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 20.1% 女性 24.9% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 14.5% 女性 14.3% (2020年度)	D D D B	D	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 10% 女性 17% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 6.2% 女性 8.8%	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率をいう。)	2008年度の18.7%減少 (2015年度)	2008年度の14.5%減少 (2021年度)	D	D	2008年度の25%以上減少	第3期静岡県医療費適正化計画(2023年度まで)の目標値
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	522人 (2015年)	543人 (2021年)	D	D	481人	日本透析医学会の公表値
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少)	1.5% (2014年度)	1.0% (2020年度)	A	A	1.0%	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ

指標	基準値 〔中間評価時点の値〕 (年)	直近実績値 (年)	評価 (個別項目)	評価	目標値	数値の出典
糖尿病治療継続者の割合の増加	68.9% (2016年)	57.9% (2022年度)	D	D	75%	県民健康基礎調査
糖尿病有病者・予備群の増加の抑制	糖尿病有病者の割合 男性40～74歳 11.9% 女性40～74歳 6.0% 予備群の割合 男性40～74歳 12.3% 女性40～74歳 10.5% (2014年度)	糖尿病有病者の割合 男性40～74歳 13.3% 女性40～74歳 6.3% 予備群の割合 男性40～74歳 13.4% 女性40～74歳 10.3% (2020年度)	D D D B	D	有病者・予備群の割合の現状値を維持	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
全出生数中の低出生体重児の割合の減少	10.1% (2015年度)	9.8% (2021年)	A	A	減少傾向へ	人口動態統計
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加	39.3% (2016年度)	41.6% (2022年度)	B	B	80%	健康に関する県民意識調査
ふじ33プログラムを実施する市町の数	33 (2016年度)	35	A	A	35	健康増進課調べ
健康マイレージ事業を実施する市町の数	24 (2016年度)	35 (2021年度)	A	A	35	健康増進課調べ
屋外で1日に60分以上遊ぶ子ども(幼児)の割合	32.5% (2016年度)	26.5% (2022年度)	D	D	50%以上	幼児の生活習慣に関する調査
ふじのくに健康づくり推進事業所数	109事業所 (2016年度)	6,756事業所 (2022年12月末現在)	A	A	6,700事業所 (2025年度)	健康増進課調べ (静岡県の新ビジョン後期アクションプラン)
健幸アンバサダー養成数	-人 (2016年度)	4,033人 (2021年度末)	B	B	10,000人 (2021年度)	健康増進課調べ
地域の場々を利用した健康づくり						
居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合	57.8% (2016年度)	54.2% (2022年度)	D	D	増加傾向	健康に関する県民意識調査
住んでいる地域で問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとしていると感じている者の割合	55.8% (2016年度)	53.3% (2022年度)	D	D	増加傾向	健康に関する県民意識調査
健康づくりを目的としたボランティア活動に関わったものの割合	40.6% (2016年度)	35.2% (2022年度)	D	D	増加傾向	健康に関する県民意識調査
健康づくりに関する活動に取り組む、自発的に情報発信を行う企業等の登録数(静岡県内)の増加	91 (2017年1月現在)	194 (2023年3月末現在)	A	A	増加傾向	Smart Life Projectの公表値
健康づくりサポーターの数	2,386件 (2017年10月現在)	2,471件 (2023年3月末現在)	B	B	2500件	健康増進課調べ

指標	基準値 〔中間評価時点の値〕 (年)	直近実績値 (年)	評価 (個別項目)	評価	目標値	数値の出典
社会参加をしている高齢者の割合(65歳以上)	48.5% (2016年度)	72.4% (2019年度) ※2022年度結果は R5.8公表予定	A	A	70%	高齢者の生活と意識に関する調査
ふじのくに健康づくり推進事業所数〔再掲〕	〔109事業所〕	6,756事業所 (2022年12月末現在)	〔A〕	〔A〕	〔5000事業所〕	〔再掲〕
健幸アンバサダー養成数〔再掲〕	〔-人〕	4,033人 (2021年度末)	〔B〕	〔B〕	〔10,000人〕	〔再掲〕
領域別に進める健康づくり〔食育〕						
栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児・児童・生徒の割合の増加	幼児 35.5% 小6年 52.0% 中2年 45.3% 高2年 32.0% (2016年度)	幼児 41.2% 小6年 46.9% 中2年 48.4% 高2年 45.5% (2022年度)	B D B B	C	幼児 50% 小6 55% 中2 50% 高2 50%	朝食摂取状況調査(教育委員会)
朝食を1人で食べる子どもの割合の減少	幼児 17.9% 小6年 29.4% 中2年 45.3% 高2年 62.3% (2016年度)	幼児 18.5% 小6年 28.8% 中2年 42.7% 高2年 58.6% (2022年度)	D A A A	B	減少傾向へ	朝食摂取状況調査(教育委員会)
朝食を毎日食べる幼児、児童、生徒の割合	幼 98.5% 小 98.2% 中 96.2% 高 96.4% (2016年度)	幼 98.3% 小 97.5% 中 95.0% 高 95.8% (2022年度)	D D D D	D	100%に近づける	朝食摂取状況調査(教育委員会)
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	45.3% (2016年度)	42.0% (2022年度)	D	D	80%	県民健康基礎調査
野菜摂取量平均値の増加(20歳以上の男女)	男性 291.1g 女性 253.7g	男性 288.5g 女性 282.6g	D B	C	350g以上	県民健康基礎調査
果物100g未満の割合の減少(20歳以上の男女)	56.6% (2016年)	62.5% (2022年度)	D	D	30%未満	県民健康基礎調査
食塩摂取量平均値の減少(20歳以上の男女)	男性 10.6g 女性 9.2g (2016年)	男性 10.8g 女性 9.2g (2022年)	D C	D	男性8.0g未満 女性7.0g未満	県民健康基礎調査
肥満傾向の児童の割合の減少	小 6.7% 中 7.1% 高 7.5% (2016年度)	小 8.2% 中 8.5% 高 6.5% (2021年度)	D D B	C	減少傾向へ	学校保健統計
肥満者の割合の減少(20～60歳代男性)	25.1% 肥満者の割合の減少(40～60歳代女性)	33.3% 17.5% 16.9% (2022年度)	D D A	C	22% 15% 20%	健康に関する県民意識調査
低栄養傾向(BMI20以下)の割合の増加の抑制(65歳以上)	18.6% (2016年度)	20.4% (2022年度)	A	A	21%	健康に関する県民意識調査
ヘルシーメニュー(食塩や脂肪が少ない、野菜が多い等)の提供をしている特定給食施設(事業所、一般給食センター)の割合の増加	78.1% (2016年度)	78.1% (2022年度)	C	C	100%	給食施設実態調査
管理栄養士・栄養士を配置している特定給食施設の割合の増加	75.1% (2016年度)	77.7% (2022年度)	B	B	80%	給食施設実態調査
緑茶を毎日飲む者の割合の増加(20歳以上)	44.1% (2016年度)	47.2% (2022年度)	B	B	70%	健康に関する県民意識調査

指標	基準値 〔中間評価時点の値〕 (年)	直近実績値 (年)	評価 (個別項目)	評価	目標値	数値の出典
領域別に進める健康づくり〔運動・身体活動〕						
1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	男子6.1% 女子10.8% (2016年度)	男子 9.0% 女子 14.9% (2022年度)	D D	D	減少傾向へ	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」児童調査小学5年生(文部科学省)
日常生活における歩数の増加	20～64歳 男性 7,853歩 女性 7,058歩 65歳以上 男性 6,047歩 女性 5,077歩 (2016年)	20～64歳 男性 7,800歩 女性 6,630歩 65歳以上 男性 5,283歩 女性 4,774歩 (2022年度)	D D D D	D	20～64歳 男性 9,000歩 女性 8,500歩 65歳以上 男性 7,000歩 女性 6,000歩	県民健康基礎調査
運動習慣のある者の割合	20～64歳 男性 20.0% 女性 16.7% 65歳以上 男性 37.7% 女性 31.4% (2016年)	20～64歳 男性 41.0% 女性 30.3% 65歳以上 男性 35.5% 女性 45.3% (2022年度)	A B D B	B	20～64歳 男性 36% 女性 33% 65歳以上 男性 58% 女性 48%	県民健康基礎調査
足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(1,000人当たり)	男性 209人 女性 280人 (2013年)	男性 206人 女性 255人 (2019年)	B B	B	男性 200人 女性 260人	国民生活基礎調査
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加〔再掲〕	[39.3%] (2016年度)	[41.4%] (2022年度)	[B]	[B]	[80%]	健康に関する県民意識調査 〔再掲〕
ふじ33プログラムを実施する市町の数〔再掲〕	[33]	35	[A]	[A]	[35]	〔再掲〕
領域別に進める健康づくり〔休養・こころ〕						
睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(20歳以上)	19.1% (2016年度)	18.8% (2022年度)	B	B	15%以下	県民健康基礎調査
気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	14.1% (2016年度)	12.5% (2022年度)	B	B	9.4%	健康に関する県民意識調査
自殺による死亡者数の減少	602人 (2016年)	539人 (2021年)	B	B	500人未満 (2025年度)	第2次静岡県自殺総合対策行動計画の指標 静岡県の新ビジョン後期アクションプラン
領域別に進める健康づくり〔たばこ・アルコール・薬物〕						
成人の喫煙率の減少(喫煙習慣のある人の割合)	20歳以上男性 31.6% 20歳以上女性 9.4% 20歳以上計 20.1% (2016年 * 不詳除く) 〔参考〕 男性27.5%、女性7.1%、男女計17.0% (2016年 無回答除く)	20歳以上男性 25.9% 20歳以上女性 7.6% 20歳以上計 16.4% (2022年 * 不詳除く) 〔参考〕 男性22.8%、女性5.9%、男女計13.7% (2022年 無回答除く)	B	B	12%	国民生活基礎調査 (参考部分:健康に関する県民意識調査)
受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少	行政機関 11.0% 医療機関 10.2% 職場 29.3% 家庭 6.4% 飲食店 44.7% * 習慣的喫煙者でない者の受動喫煙の状況、「月1回程度」以上、「家庭」のみ「毎日」 (2016年)	行政機関 3.4% 医療機関 2.4% 職場 25.7% 家庭 9.1% 飲食店 23.3% * 習慣的喫煙者でない者の受動喫煙の状況、「月1回程度」以上、「家庭」のみ「毎日」 (2022年度)	B B B D B	B	行政機関 0% 医療機関 0% 職場 0% 家庭 3% 飲食店 15%	健康に関する県民意識調査
家族の中で喫煙する人がいる幼児の割合	40.1% (2016年度)	35.4% (2022年度)	B	B	0%	幼児の生活習慣に関する調査
妊娠中の喫煙をなくす(母子健康手帳交付時に喫煙頻度に関わらず喫煙有りと回答した者の減少)	1.9% (2016年度)	1.5% (2022年度)	B	B	0%	健康増進課調べ

指標	基準値 〔中間評価時点の値〕 (年)	直近実績値 (年)	評価 (個別項目)	評価	目標値	数値の出典
妊娠中の飲酒をなくす (母子健康手帳交付時に 飲酒頻度に関わらず飲 酒有りと回答した者の減 少)	3.4% (2016年度)	2.6% (2022年度)	B	B	0%	健康増進課調べ
生活習慣病のリスクを高 める量を飲酒している者 (1日当たりの純アルコー ル摂取量が男性40g以 上、女性20g以上の者)の 割合の減少	男性 11.9% 女性 8.3% (2016年度)	男性 14.1% 女性 6.9% (2022年度)	D B	C	男性 10.0% 女性 6.4%	県民健康基礎調査
COPDの認知度の向上	35.4% (2016年度)	32.2% (2022年度)	D	D	80%	健康に関する県民意識調 査
領域別に進める健康づくり〔歯〕						
5歳児でむし歯を経験した 歯が5本以上の者の割合 の減少	11.1% (2016年度)	7.3% (2021年度)	A	A	10%	5歳児歯科調査
12歳児(中学校1年生)で むし歯を経験したことが ない者の割合の増加	73.6% (2016年度)	82.2% (2022年度)	A	A	75%	学校歯科保健調査
中学校3年生で、むし歯 を経験した歯が5本以上 の者(むし歯多発者)の割 合の減少	6.5% (2016年度)	3.9% (2022年度)	A	A	4%	学校歯科保健調査
20歳代における歯肉に炎 症所見を有する者の割合 の減少	36.7% (2016年度)	29.2% (2022年度)	B	B	25.0%	健康に関する県民意識調 査
35-44歳で28本以上の者 の割合の増加	63.9% (2016年度)	76.2% (2022年度)	A	A	75%	健康に関する県民意識調 査
40歳代における進行した 歯周炎を有する者の割合 の減少	38.5% (2016年度)	35.5% (2022年度)	B	B	25.0%	健康に関する県民意識調 査
60歳代における咀嚼良好 者の割合の増加	73.5% (2016年度)	74.8% (2022年度)	B	B	80%	健康に関する県民意識調 査
60歳(55-64歳)で24本 以上の自分の歯を有する者 の割合の増加	65.3% (2016年度)	75.2% (2022年度)	A	A	70%	健康に関する県民意識調 査
60歳代における進行した 歯周炎を有する者の割合 の減少	56.6% (2016年度)	58.1% (2022年度)	D	D	45%	健康に関する県民意識調 査
80歳(75-84歳)で自分の 歯が20本以上ある人の 割合	47.2% (2016年度)	58.3% (2022年度)	A	A	52%	健康に関する県民意識調 査
予防のために1年に1回 以上、歯の健診を受けて いる者の割合の増加	41.5% (2016年度)	58.5% (2022年度)	B	B	65%	健康に関する県民意識調 査